

国際医療経済・アウトカム研究学会(ISPOR) 日本部会
会員総会・第14回学術集会
プログラム

日時: 2018年12月25日(火) 13:30~16:45 (会員総会 13:00~13:20)

場所: 長井記念ホール 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

【会員総会】

13:00 - 13:20 ISPOR 日本部会 会員総会

【第14回学術集会】

13:30 - 13:40 ISPOR 日本部会会長挨拶

齋藤信也 (岡山大学)

第1部 一般演題発表(13:40-14:55)

座長: 赤沢学(明治薬科大学)、能登真一(新潟医療福祉大学)

■ 13:40 - 13:45 座長挨拶

■ 13:45 - 13:55 [発表(1)]

医療ロボ・ダビンチによる外科手術の経済的評価 ~ 離散選択実験を用いた経済評価

森剛志(甲南大学)

■ 13:55 - 14:05 [発表(2)]

うつ病に対するミルタザピンの費用対効果研究 - 早期寛解率を反映したモデルでの分析 -

佐渡充洋(慶應義塾大学)

■ 14:05 - 14:15 [発表(3)]

Evaluating the Pattern of Severe Adverse Event Occurrence after Transcatheter

Aortic Valve Replacement in Japan

隈丸拓(東京大学大学院)

■ 14:15 - 14:25 [発表(4)]

リアルワールドデータを用いた国内成人アトピー性皮膚炎患者における診療実態分析

田口有里恵(サノフィ株式会社)

■ 14:25 - 14:35 [発表(5)]

大規模リアルワールドデータを用いた幼児及び学童におけるインフルエンザワクチンの経済評価

大室友佳(慶應義塾大学)

■ 14:35 - 14:45 [発表(6)]

在宅介護期間がより長い利用介護サービスの組み合わせの検討

森山葉子(国立保健医療科学院)

■ 14:45 - 14:55 [発表(7)]

転移・再発乳癌患者対象のタキサン系薬剤とティーエスワンのランダム化比較試験(SELECT-BC)における
QOL のレスポンスシフト分析 村田達教(クレコンメディカルアセスメント株式会社)

■ 14:55 - 15:15 休憩

第 2 部 シンポジウム

「費用対効果のデータソースに関する諸課題」

(15:15-16:40)

座長：池田俊也(国際医療福祉大学)、田倉智之(東京大学)

■ 15:15 - 15:20 座長挨拶

■ 15:20 - 15:35 QOL 能登真一(新潟医療福祉大学)

■ 15:35 - 15:50 システムティックレビュー 濱島ちさと(帝京大学)

■ 15:50 - 16:05 レセプトデータベース 赤沢学(明治薬科大学)

■ 16:05 - 16:20 ナショナルデータベース 佐藤大介(国立保健医療科学院)

■ 16:20 - 16:40 総合討論

16:40 - 16:45 閉会の挨拶 赤沢学(明治薬科大学)